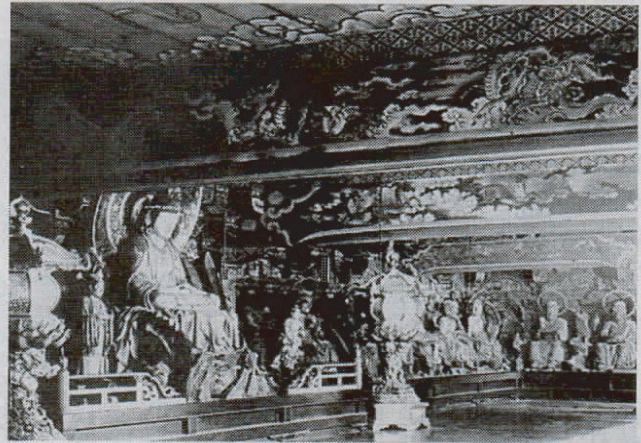


京都の重文答申 知恩院の群像も

重文指定を受ける木造釈迦如来及両脇侍像と 木造十六羅漢坐像 (文化庁提供)



文化審議会が19日、指定を答申した京都の重要文化財のうち、八瀬童子資料のほかの2件は次の通り。

【絵画】「絹本着色賢聖障子」(京都市右京区)



古代中国の聖人を描いた絹本着色賢聖障子の一部 (文化庁提供)

平安時代以降、賢聖障子が描き継がれてきたが、現存最古の障子となる。1641(寛永18)年に仁和寺に下賜された。

【彫刻】「木造釈迦(如来)・木造十六羅漢坐像(十六体)」(京都市東山区・知恩院 知恩院三門の階上に安置された群像)

34年に建築、大正13年にかけて増築し旅館特有の奥深い空間を持つ。玉手祭来酒解神社(たまたまてよりまつりきたるさかとげじんじや)本殿(大山崎町大山崎)1820(文政3)年築。五間社流造の大型社殿で、欄間などに勇壮な彫刻がある。

府教委が昨年調査したところ釈迦像の内部に「七条大仏師法眼康猶(こうゆう)」の銘が確認され、制作年代も1620(元和6)年と分かった。十六羅漢も2体に康猶一門の康如の銘があり、江戸彫刻の成立を知る上で重要という。

また同審議会が同日、登録を答申した京都で登録される有形文化財は次の通り。

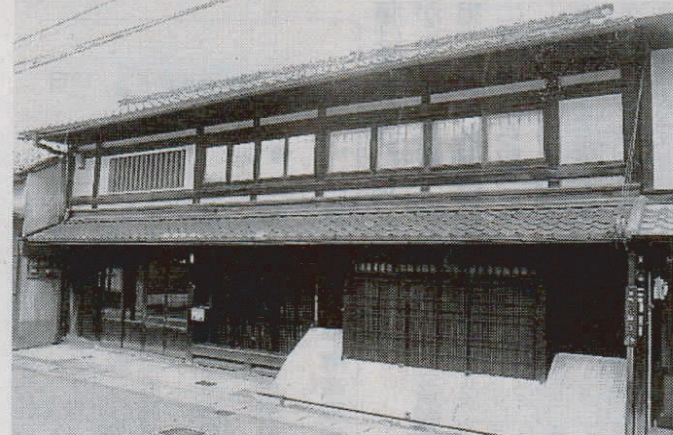
京滋以外の答申 倉市▽木造菩薩座像(常楽寺 岐阜県関市)▽木造能狂言面(春日神社、岐阜県関市)▽木造地藏菩薩立像(金剛証寺、三重県伊勢市)▽木造地藏菩薩立像(快慶作(藤田美術館、大阪市)▽銅造如来立像(光明寺、奈良県五條市)▽木造菩薩坐像(養花院、高知県仁淀川町) 工芸品の部 鼠志野草花文鉢(文化庁)▽比良山時絵硯箱(東京都立博物館、東京都台東区)▽黒綸子地波鸞文様小袖(東京都立博物館、東京都台東区)▽奈良三彩壺(九州国立博物館、福岡県太宰府市) 書跡・典籍の部 是則集(大阪青山歴史文学博物館、兵庫県川西市)▽春日懷紙(紙背春日万葉集(国文学研究資料館、東京都立川市)▽高麗版貞元新訳華嚴經疏卷第十(大東急記念文庫、東京都世田谷区)▽斎宮女御集(唐紙(徳川美術館、名古屋市中区)▽宝要抄(武田科学振興財団、大阪市) 古文書の部 平城宮跡

滋賀の有形文化財答申 大津の町家5軒

滋賀県では、大津市の旧市街地にある旧家5軒が有形文化財として登録される。江戸末期から昭和初期に建てられた「町家(ちやういえ)」で、旧東海道沿い周辺の古いまち並みを構成する貴重な建物だ。いずれも湖国三大祭りの一つ、大津祭りの曳山巡行を2階から見物できる構造を備えている。

町家で、大津祭では隣接の町家と一体になり曳山の組み立てや解体、収納などを行う場として使われた▽石田家住宅主屋及び洋館(同市中京1丁目)1937(昭和12)年。主屋は平屋建て切妻造り、数寄屋風の意匠の洋館。2階建て切妻造り、スパニッシュ瓦葺き。2階はステンドグラスのはまった檜円(だえん)窓が設置される▽桐畑家住宅主屋及び離れ、土蔵(同)江戸中期、明治中期。主屋は2階建て、切妻造り。昭和前期の道路拡張で軒を縮め、正面を改造している▽佐野家住宅主屋及び土蔵(同2丁目)江戸末期。主屋は2階建て、切妻造り。1階に格子戸を立てた入り口があり、2階窓には格子が取り付けられる。漆喰(しっくい)塗りの外壁の土蔵は3階建て▽初田家住宅主屋及び土蔵、塀(同)江戸末期。2階建て、切妻造り。2階の西側にガラス窓、東側に鉄格子の虫小窓がある。

【建造物】北川家住宅主屋及び土蔵(大津市京町1丁目)江戸末期。周辺では数少ない大規模な



北川家住宅主屋 (大津市京町1丁目) 滋賀県教委提供

歴史資料の部 伊能忠敬関係資料(伊能忠敬記念館、千葉県香取市) 【重要文化財】 絵画の部 紙本墨画淡彩峨松図(文化庁)▽絹本着色聖徳太子絵伝(東京都立博物館、東京都台東区)▽紙本着色浅間山図(亜欧堂田善筆(東京都立博物館、東京都台東区)▽絹本着色洞窟の頼朝(前田青邨筆(大倉集古館、東京都港区)▽絹本着色法然上人絵伝(山梨県立博物館、山梨県笛吹市)▽絹本着色釈迦三尊十八羅漢図(一蓮寺、甲府市) 彫刻の部 木造伽藍神像(建長寺、神奈川県鎌

り、江戸後期の特色を現している▽山田家住宅主屋、長屋門、長塀(久御山町東一口)江戸後期の建築で、淀川、巨椋池の漁業者の代表として周辺の集落を取りまとめている大庄屋で、切妻造の屋根などが格式ある屋敷景観をつくっている。